

トモシンセシスガイド下マンモトーム®専門外来を始めました

貴院通院中の患者様に、市立貝塚病院の腹臥位トモシンセシスガイド下吸引式乳房組織針生検装置を用いたマンモトーム®生検を受けて頂くことができます。

吸引式乳房組織針生検 (マンモトーム®生検) とは？

悪性を疑う (C4) 石灰化に対して経過観察を行うと、患者様は“癌かもしれない”と大きな不安とストレスを数年間も抱えて過ごすこととなります。さらに経過観察後に悪性と診断された場合には、治療開始が数年遅れます。しかし、マンモトーム®生検を行えば、約2週間後に正診率 99%で良悪性の診断が可能ですので、大きな不安とストレスを取り除き、悪性の場合には直ぐに治療を開始することができます。患者様にとって非常にメリットの大きい検査です。

市立貝塚病院に導入した「腹臥位トモシンセシスガイド下マンモトーム®生検装置」とは？

従来、当院で使用していた「腹臥位ステレオガイド下マンモトーム®生検装置」は、左右15°のステレオX線撮影を用いて目標石灰化の位置を設定することによって、組織の採取を行っていました。しかし、受像機はCCDを用いていたため描出能力が低く、石灰化が淡い場合や周辺に複数個ある場合、左右2枚のステレオ画像で同一の石灰化と判断して目標を設定することが難しく、ミスが発生や検査時間も長くなるなどの欠点がありました。

しかし、新たに導入した「腹臥位トモシンセシスガイド下マンモトーム®生検装置」は、トモシンセシス (乳房X線断層撮影) の断層面で**目標石灰化の位置**を同定するため**間違えることはなく**、受像機は高精細のフラットパネルディテクター (70µm) を使用しているため、**淡い石灰化が見えなくなることもありません**。そして腹臥位で生検を行うため、座位や側臥位方式では避けられない**気分不良や貧血はほとんどなく** (従来使用の腹臥位装置の実績：601例中 0例)、360°方向から採取可能なため、太い血管を避けた採

取で出血量を最小限に抑え、石灰化の位置も**広範囲の採取が可能**です。したがって、マンモトーム®生検が安全かつ安心で正確に、**短時間** (入室～退出の平均：従来 60分 → 新装置 40分) での実施が可能です。

なお、この装置は日本はもちろん海外においても最先端装置であり、大阪では当院を含めて2台しか導入されていません (令和4年12月現在)。

貴院からのマンモトーム®生検のご依頼をお受けします

貴院に通院中の患者様に、当院のマンモトーム®生検を受けて頂くことができるようになりましたので、対象となる患者様がおられましたら**当院のマンモトーム®外来にご紹介ください**。

当院マンモトーム®外来の特徴は、検査結果が悪性であっても、**当院で結果説明や手術を行わずに**、貴院に検査結果をお送りしますので、**貴院で結果説明や手術、経過観察を行って頂ける点**です。

(*ご要望があれば、当院での手術も可能です。)

【患者様ご負担金】

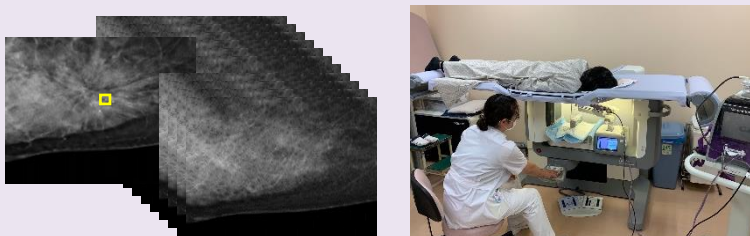
特別な処置がない限り、初診で3割負担の場合は約3万円となります。

【検査日と時間】

検査日は毎週月曜日に2件行います。患者様の当院へのご来院は通常は当日のみで、13時 (1件目) あるいは14時 (2件目) にご来院頂き、マンモトーム®検査自体は45分前後、通常は3時間程度で病院を退出して頂けます。

【お申込みとお問合せ】

市立貝塚病院「地域連携室」：072-422-5865



腹臥位トモシンセシスガイド下マンモトーム®生検

高精細検出器のFPDを使用、断層面で石灰化の位置設定、腹臥位で検査を実施 → 正確に安全で短時間の生検が可能

当院マンモトーム®外来の特徴

